



# Así es Guatemala



2016年9月30日 発行者：平成26年度1次隊 余郷 友祐

みなさんこんにちは。前回も書かせていただきましたが、3ヶ月程前に帰国しました。グアテマラでの生活は既に終了してしまいましたが、もう少し皆さんに紹介したいことがあるので、お付き合いいただけると有難いです。

今回は、「グアテマラの伝統的な行事」について紹介したいと思います。以前から多くの方に質問をいただいていたのですが、紹介が遅くなってしまいました。

## ①、独立記念日（9月15日）



グアテマラはもともとスペインの領地でした。それが1821年9月15日に独立を果たしたので、それ以来、毎年9月15日が独立記念日になっています。グアテマラが誕生した日ということで、多くの人が集まってお祝いをします。どこの国にも支配されたことがなく、独立記念日のない日本の方々にとっては、少しイメージしにくいかもしれませんね。



多くの小学生が鼓笛隊として参加します。



ぼくも来賓としてパレードに参加しました。

## ②、死者の日（11月1日）



日本でいうお盆のようなものです。亡くなった方々への弔いの意を込めて行われる行事です。日本では、お墓参りをしたり、お経を読んだりすることが多いと思いますが、**グアテマラでは凧をあげます。**それも直径10m以上もあるような大きな凧です。上の写真がその凧です。とてもきれいです。



当日は、何十個もの凧があげられます。



凧の色や模様は様々です。

### ③、クリスマス（12月25日）



日本でもお馴染みですが、**グアテマラはキリスト教の国ですので本場**です。グアテマラの人々にとって、クリスマスは1年でもっとも大切な日といっても過言ではないようです。

**クリスマス休暇**といって、**多くの人は12月中の1ヶ月間、仕事も学校もお休み**になります。1ヶ月も休みがあるなんてちょっと羨ましいですね。



町を練り歩いて、お祝いをします。



親戚一同が集まってお祝いをします。



ぼくの家族が作ったジオラマ①。



ぼくの家族が作ったジオラマ②。

いかがでしたか。ここでは紹介しきれませんでした。他にも、「先生の日」、「軍隊の日」、「セマナ・サンタ」(←過去の通信で少しだけ紹介しました。)などがあります。もし興味があれば調べてみてくださいね。

世界には、それぞれの国ごとに様々な祝日があるので面白いなと思いました。

**※最後まで読んでいただいて、ありがとうございました。**

もし何か、質問(疑問に思ったこと、知りたいと思ったこと)などがあれば、連絡して下さい。うれしいです。ただし、すべての質問にお答えすることはできないかもしれませんので、その点をご理解して頂けると助かります。連絡先：[yogguatemala@yahoo.co.jp](mailto:yogguatemala@yahoo.co.jp)